



JASDAQ

平成 29 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ジオネクスト
代表者名 代表取締役社長 山田 哲嗣
(コード：3777、JASDAQ)
問合せ先 取締役経営企画管理本部長 池田 晃司
(TEL. 03-6804-2831)

「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載解消についてのお知らせ

当社は、本日公表の「平成 28 年 12 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、前連結会計年度までの継続した営業損失の発生及び営業キャッシュ・フローのマイナスから、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在し、当該疑義に関する重要な不確実性が認められることから、「継続企業の前提に関する注記」を記載するとともに、当該「継続企業の前提に関する重要な不確実性」の解消に向けて種々の対策を講じてまいりました。

当社グループは、特に高い収益性が見込まれる再生可能エネルギー事業における太陽光発電事業へリソースを集中し、事業を展開してまいりました。また、当該太陽光発電事業拡大による収益の安定化と財務体質改善・強化を図るべく、平成 28 年 9 月 21 日開催の取締役会において、第三者割当による新株式及び新株予約権(以下「本第三者割当増資」という)の発行を決議し、平成 28 年 10 月 21 日開催の臨時株主総会において本第三者割当増資が原案どおり承認可決され、払込期日である平成 28 年 10 月 24 日付で、本第三者割当増資の発行価額の総額である 777,200 千円全額の払込みを受けました。また、新株予約権の行使も順調に進み、平成 29 年 1 月 31 日までの間において新株予約権の権利行使により 981,000 千円の払込みを受けており、合計 1,758,200 千円の資金を調達いたしました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高 593,216 千円(前年同期比 25.6%減)と前年同期を下回ったものの、営業利益 67,656 千円(前年同期は営業損失 147,905 千円)と営業利益の黒字化を達成することができました。加えて、平成 29 年 12 月期の連結業績は、売上高 2,246 百万円、営業利益 166 百万円、経常利益 66 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 63 百万円を計画しております。

このように財務体質の改善が進むとともに、今後においても安定した収益確保が見込まれることから、継続企業の前提に関する重要な事象または状況は存在しないものと判断し、平成 28 年 12 月期決算短信〔日本基準〕(連結)において、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消することといたしました。

株主をはじめとするステーク・ホルダーの皆様には大変ご心配をおかけしましたが、今後も更なる業績向上と企業価値の増進に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上